

# 第9回(平成24年度)協会活動有功賞受賞者

協会活動有功賞は、当協会の運営、事業などの活動で顕著な貢献のあった者を表彰することにより、会員の協会活動に対する参加意欲の増大を促すとともに、協会活動の更なる発展を図ることを目的として創設されたものです。

なりた えいち  
成田 榮一 氏 (岩手大学大学院工学研究科 教授)

## 東北北海道支部での行事運営・交流推進による活動活性化への貢献



成田榮一氏は、平成8年に東北北海道支部の岩手地区幹事に就任以来、支部主催の各種行事担当として活発に活動してきた。とくに同11年度ならびに同16年度の支部研究発表会・基礎科学部会地区懇話会では実行委員長を務め、企画立案から実施まで先頭に立って各種行事を推進した。同24年度も三度目の実行委員長を務め、活発な支部研究発表ならびに会員交流の場となるよう尽力中である。また、同10年度には学生の優秀発表賞の制度の提案に協力し、実現した。これにより学生の研究発表意欲が一層高まり、発表件数やレベル向上に大きく貢献した。さらには、セラミックス基礎科学討論会(仙台)や秋季シンポジウム(秋田)の開催にも実行委員として協力した。同21年度～22年度には東北北海道支部長を務め、支部全体の運営にも深く携わった。また、無機マテリアル学会北部支部長や日本粘土学会副会長を務めたことから、これらの活動を通じて無機材料関係の研究者の交流を広げ、支部行事の円滑化と活性化に貢献してきた。このような活動を通して東北北海道支部行事の活性化に貢献してきたことは、協会活動有功賞に値するものと考え、ここに推薦する。

**略歴** 昭和52年東北大学大学院工学研究科博士課程(応用化学専攻)修了。同年東北大学工学部助手、同60年八戸工業高等専門学校助教授、同62年八戸工業高等専門学校教授、平成5年岩手大学工学部教授、同16年岩手大学大学院工学研究科教授。

みやお しげはる  
宮尾 茂治 氏 (昭和電工(株)塩尻事業所 品質保証課)

## 化学分析方法規格および標準物質に係る標準化事業に対する貢献



宮尾茂治氏は昭和43年に昭和電工(株)に入社以来、一貫してセラミックスの化学分析業務に携わり、各種のセラミックス製品の品質向上のための分析技術の開発に努めてきた。その間、各種のセラミックス材料の化学分析に対して豊富な経験と卓越した技術をもって業務に精進を重ねてきた結果、平成18年3月に同社塩尻事業所の品質保証マイスター資格の認定を受けた。同6年より日本セラミックス協会原料部会(現資源・環境関連材料部会)化学分析分科会に参加し、培ってきた高度の化学分析技術を擁して6件の協会規格(JCRS)および日本工業規格(JIS)の作成ならびに共同実験に参画して、ファインセラミックス材料の化学分析技術の標準化に大きな役割を果たした。また、アルミナおよび窒化けい素微粉末の協会認証標準物質作製のための共同実験に参画して信頼性の高い分析値を報告し、認証標準物質の開発と供給に大いに貢献した。以上のように、同氏は17年余の長きにわたる活動を通じて、協会が推進する標準化事業(化学分析方法規格の標準化および標準物質の開発と供給)の推進に対して顕著な貢献をなしており、協会活動有功賞に値するものとして推薦する。

**略歴** 昭和43年3月長野県岡谷工業高等学校工業化学科卒業。同年3月昭和電工(株)塩尻工場入社、同51年3月製造部技術課検査上級専門職、平成12年3月生産技術・統括部品質保証特別専門職。